

テーマ：“広く一般利用される背景地図データの利用制限を再確認してみよう”

■ 主旨

日ごろは、本分科会の活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

東日本大震災などの災害を契機として、災害に強い防災力のあるまちづくり“まちの防災力アップ”のために、地図情報発信・共有ツールとしてG I S が認識され、自治体をはじめ、マッピングパーティなどの活動をとおして、広く一般に地図情報の活用を深めることで、地域コミュニティの強化、防災意識の向上が図られてきています。また、教育の側面でも初等中等を問わず地理教育の重要性が話題となっているなか、地図を使って町の安全を点検する教育も進められています。

そのようななか、自治体の取り組みとして、前述の“まちの防災力アップ”の観点だけではなく、まちの産業活性化・地域魅力の発信などために、行政機関などが保有するデータのオープンデータ化が進められて来ています。

一方、G I S を用いて、様々な地域情報を実社会に反映させ活用するためには、タイムリー性、リアルタイム性、セキュリティ性などの相関に留意する必要があると考えています。

そこで、本セミナーでは、社会が安心して地理空間情報を利用するために、G I S の背景地図データに着目し、その著作権・利用制限などの特徴について理解を深め、適正な利用に向けて利用者の認識の向上を図る目的で、“広く一般利用される背景地図データの利用制限を再確認してみよう”と題して開催します。

■ プログラム

- | | |
|--------|---|
| 14:00～ | 開催主旨について
G I S Aセキュリティ分科会 代表 内布 茂充 |
| 14:10～ | 「ゼンリンの地図データ事業と著作権保護のあり方について」
株式会社ゼンリン ユーポレート本部 法務・知的財産部部長 西幹 真一郎 |
| 14:40～ | 「G o o g l e M a p のライセンスの考え方について」
応用技術(株) ソリューション本部 営業部 木村 征爾 |
| 15:10～ | 休憩 |
| 15:20～ | 「O p e n S t r e e t M a p の利用とライセンス」
奈良女子大学人文科学系 准教授 西村 雄一郎 |
| 16:00～ | ディスカッション |
| 17:00 | 閉 会 |